

Curated Media まとめコンテンツガイドライン

Ver. 1.0



株式会社エア

はじめに

Curated Media は、

「アレ、ざっと理解しとかなきゃ！」に応える実名制まとめサイト

です。本稿は、キュレーターとしてご参加いただく皆さまに、まとめコンテンツを作る手順のだいたいのイメージと、作る際にご留意いただきたいことをご説明するとともに、「これならできるな」「これならやってみよう」と思っていただくことを何よりの目的としています。皆さまの専門知識、経験、見識を、どうか Curated Media 上で一つの知恵と昇華していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご質問等は弊社担当者、もしくは info@curated-media.com までお寄せください。



シンプルなものであれば、関連サイトを3つ選ぶだけ。10分程度で魅力的なコンテンツを公開する事ができます。公開されたコンテンツは、ソーシャルメディア経由で多くの人のもとに届きます！

本ガイドラインでは、「テーマ決め」「関連サイト」について、なるべくスマートにやる進めかた・参考情報をご案内します。

①「まとめテーマ」と「カテゴリ」を決める

◆「まとめテーマ」を決める

Curated Media では、まとめテーマ名は基本的に**単語**、もしくは **1 フレーズのキーワード**です。文章や、キャッチコピーのような形ではありません。

石原慎太郎&橋下徹 電力需要
AKB48 異常気象 福島第一原発廃炉
東日本大震災に備える
官僚機構改革 東京電力再編
アメリカ大統領選挙 オタク文化

テーマ名は、Facebook でシェアする時のタイトルにもなり、検索の際にも使われるので、内容を最も簡潔に表すキーワードにしてください。あまり長いと改行が不用意に入ってしまうので、**10 文字程度**に凝縮すると効果的です。

◆「ジャンル」を選ぶ

Curated Media は **7 つのトップジャンル**と、その下に**メインカテゴリ**、さらにその下にサブカテゴリ、の3層構造になっています。

政治・経済 / ビジネス、金融、国際、事件・・・
流行・時事 / 芸能、イベント、ニュース、メディア、トレンド
ファッション・・・
趣味・専門 / エンタメ、カルチャー、ホビー、スポーツ、ペット、ファッション・・・
医療・健康 / 妊娠・出産、育児、スポーツ、人体・・・
地域・生活 / レジャー、ローカル、レシピ、グルメ、交際、住宅・・・
科学・IT / テクノロジー、ネット、ハードウェア、自然、教育、社会・・・
歴史・文化 / 行事、旅行、伝統、時代、アート、建築、音楽

トップジャンルは固定ですので、近いジャンルを選択してください。

(メイン/サブ)カテゴリは編集部があらかじめ準備していますが、的確なカテゴリが無い場合は任意に作成することもできます。

面倒な場合は「**編集部へおまかせ**」項目も用意しています。こちらで的確な場所に再登録いたします。



まとめコンテンツテーマを決めるヒント

あなたの専門知識を活かせそうなパターンを選びます。

検索ニーズを考慮しながら、まとめコンテンツタイトルを決めます。

②「メインコンテンツ」を作成する

◆メインコメントを書く

決めたテーマについて、何故キュレーションしようと思ったのかや、どんなサイトを集めたのか、読む人にとって何について理解できるのかを簡単に書いてください。

120 文字(入力エリアの 3 行分弱)が目安です。(長くても短くても登録は可能ですが、120 文字程度がソーシャルメディアで広がる際に最もいいあんばいの長さです。)

◆「関連サイト（おススメ URL）」を選ぶ

関連サイトは Curated Media の最重要コンテンツです。前ステップで決めたまとめタイトルについて、ユーザが「ざっと理解」できるような情報のあるサイトを選び、サイト紹介コメントと共に登録していきます。

★登録はリンクしたいサイトの URL を入力(コピペ)して「取得」ボタンを押すだけ。



★リンク先はサイトトップに限らず、ユーザに案内したい個別ページにリンクするのが効果的です。

★「地名や住所」の入力で、GoogleMAP が自動的に埋め込まれます。

★動画は Youtube の URL を入力すると、動画が埋め込まれます。

※関連サイトは 3 つから最大 15 個まで登録できます。

※通常サイトや地図、動画などを取り入れると、バリエーション豊かなキュレーションコンテンツを作成できます。

★コメント欄は、当該ページの概要や紹介するポイントを簡潔に記述してください。

◆関連ニュース

関連サイトとは別に、ニュースサイトも指定することもできます。

※重要ではないので飛ばしても問題ありません

◆関連書籍 / 関連アプリ

Web ページだけでなく、有用な書籍や、有用なスマホアプリがある場合は、それらも、コメントと共に紹介することができます。

※書籍は、Amazon.co.jp の書籍 URL のコピペで簡単に登録できます。

※アプリは、App Store / Google Play URL のコピペおよびキーワード検索できます。



「コンテンツパターン」とタイトルの決め方、関連サイトの選び方

まとめコンテンツは典型として、概ね以下の5つのパターンに大別できると考えます。もちろんこの枠にとらわれずオリジナルな視点も大歓迎ですが、とっかかりとして参考にして頂ければと思います。

■ 推薦系（知識がないので何を選んだら良いのかわからない人へ）

経験に基づくお薦めの	・スポット ・店 ・サービス ・業者 ・アイテム etc	・初めてで、失敗したくない人むけ ・上級者を自任したい人むけ ・安くさえあればいい人むけ
------------	---	--

タイトル例：「麻布十番の焼肉屋」

関連サイト例：数多くある焼肉屋の中から、話題にも使える店をピックアップしておススメメニューとともに紹介。

具体例→<http://curated-media.com/c109.html>

■ ハウツー系（「知っていればスムーズに事を進められる」基礎知識を欲している人へ）

・モノの ・コトの	・選びかた ・見分けかた ・言いかた ・訊き出しかた ・書きかた ・描きかた ・切りかた ・作りかた ・さばきかた ・つけかた etc	・そのまま使えるテンプレート / サンプル ・本質的な、そもそもの概論
--------------	---	--

タイトル例：「退職届の書き方」

関連サイト例：退職届のテンプレートサイトや、出し方のサイトなど

具体例→<http://curated-media.com/c110.html>

■ 意味解説系（言葉の意味をざっと理解したい人へ）

・モノの ・コトの ・新語の ・誰かの造語の	・語義 ・発展の歴史 ・動作原理 ・登場の背景、意義 ・問題点 ・第一人者 ・今後の予想 ・亜流意見
---------------------------------	---

タイトル例：「離活」

関連サイト例：「離活（りかつ）」のコトバの意味から、実態、対策方法などがかかれているサイト

具体例→<http://curated-media.com/c111.html>

■ 状況解説系（物事の現在の最新状況をざっと把握したい人むけへ）

・文化の ・文明の ・歴史の ・概念の ・学問の	×	・経緯 ・現状 ・関与者 ・代表的遺産など ・懸案 ・解決策	×	・ざっくり判ればいい人むけ ・本気で学びたい人むけ
--	---	---	---	--

タイトル例：「予防的乳房切除手術」

関連サイト例：広がるきっかけとなった記事（アンジェリーナ・ジョリーさんの例）や、どのような施術なのか、や賛否両論の意見のサイトなど

具体例→<http://curated-media.com/c112.html>

【参考】この項目はキュレーテッドメディアの本領発揮部分！なのでもう少し具体例を

「TPP の賛否」：話題の TPP の解説と、賛成をうたうジャーナリストの意見や、反対派、別の視点をもつ意見など、様々な角度からの意見を集める事で、見る側が賛否両論を知った上で自分の考えを決める事ができます。



TPP の基礎用語に加え、賛成派の池田信夫氏の意見、反対派の中野剛志氏の意見、第 3 の視点をとる野口悠紀雄氏の意見を紹介しています。

このように、意見が分かれるもの、偏りがちなものについて、賛成・反対・中道等を紹介すると効果的です。

例：原発の賛成反対。体罰の賛否などなど。

■ ランキング・リスト系（何が人気があるのか、何が代表的なのかをつかんでおきたい人へ）

・モノの ・業者の ・ヒトの	×	・ベスト 10 - or ・全リストアップ
--	---	---

タイトル例：「学生就職人気企業」

関連サイト例：ランキング付けした根拠の記事や、各ランクインした企業のリクルートページなど

具体例→<http://curated-media.com/c114.html>



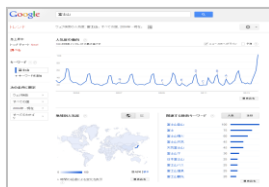
♪【ヒント】 テーマキーワードを決めるために使える便利ツールのご紹介



■Yahoo! 検索データリアルタイム

http://searchranking.yahoo.co.jp/realtime_buzz/

今この瞬間、Twitter と Facebook で話題になっている単語のランキングです。話題のキーワードを知る事ができ、関連まとめを作った時のソーシャルメディアでも広がり期待がもてます。



■Google トレンド <http://www.google.co.jp/trends/explore>

検索語ごとの検索数の推移を見ることができます。定期的に検索ニーズが興る検索語でまとめコンテンツを作っておけば、放っておいても定期的なアクセスが見込めます。



■FNN 週間予定 <http://www.fnn-news.com/wcalendar/>

フジニュースネットワークによる、今週の主な出来事をリストで見られます。政治・経済・社会・スポーツ・国際などから各種イベント日や指標発表日など、幅広くカバーされています。



■kizasi <http://kizasi.jp/>

検索エンジンなどでのキーワードと違い、kizasi はブログに登場したキーワードを自動的に集計したサイトです。つまりその日最も「話題にされた」キーワードを知る事ができます。



♪【ヒント】 関連サイトを選ぶ際に使える便利ツールのご紹介



■はてなブックマーク <http://b.hatena.ne.jp/>

各サイトのはてなブックマークにおける評判を確認できます。はてなブックマークのユーザは情報リテラシがトップクラスに高いですので、これを確認しておくことで、毀誉褒貶の激しい ⇄ 採りあげるのに慎重になったほうが良いサイトや人を、ある程度見抜くことができます。



■Similar Sites <http://jp.similarsites.com/>

あるサイトの、似ているサイトを探すことができます。日本語サイトにも対応済み。ページ単位でなく、サイト単位での抽出になりますのでご注意ください。